

若潮会だより

[第 3 号]

平成27年11月19日発行

〒898-0083 枕崎市板敷南町650番地

鹿児島水産高等学校

同窓会事務局（情報通信科 代表：長野）

Tel 0993-76-2111

Fax 0993-76-2112

若潮会関門支部会の訪問にあたり 前関門支部長 三浦健児様（昭和23年漁撈科卒業）

私は、母校と若潮会を愛し、誇りを持ちながら45年間若潮会を見守って参りました。この度、縁あって私の古巣である関門支部で10月24日（土）に実施された支部会に訪問させて頂きました。今回の支部会は次の点により、有意義なものとなりました。



- 1 本部の会長と校長の両名が訪問した。
- 2 関東支部の池上支部長が参席され、関門支部と交流した。
- 3 福岡支部の再起への光を点けようと素晴らしいが志あるS40年卒の宝代勉さんと山下親男さんの両名が福岡から駆けつけてくれた。

関門支部の志ある会員と、お互いに懐かしい学窓時代の思い出話や先輩、後輩、同級生の所在、現況などを語り、共に、今後益々若潮会の発展と各支部間の交流を深めようと意義ある盛大な懇親会を開催することができました。会の最後には、校歌を母校へ届けようと声高らかに歌い、高校生の時分へ戻った和気藹々とした時間に大変有難いものだとつくづく感激いたしました。

この度の堀田関門支部長をはじめ会員の皆さんの懇切な歓迎に心から嬉しく思い、感謝しております。本当にありがとうございました。

最後になりますが、若潮会のますますの御盛栄と会員皆様のご健勝を御多幸を心よりお祈り申し上げます。



関東支部役員会報告

11月7日（土）に関東支部役員総会が実施されました。今回の議題は来年度の関東支部総会の日程の検討です。その中で、来年度の薩摩青雲丸第一次航海で横浜港寄港が計画されている旨の報告があり、入港に合わせて支部総会を実施することとなりました。



鹿水高祭が実施されました

11月13・14日に鹿水高祭が実施され、生徒、PTAなどのバザー出店や有志によるステージ発表で盛大に盛り上がりました



演劇（1年情報通信科）



ダンス披露
阿久根先生（H21情報通信科卒）



実習製品販売（食品工学科）

若潮会としては、今年度もPTAと協力し手打ちそばでバザーに参加協力をしました。枕崎支部副支部長の駒水秋則様はそばを打ち、同窓生でもあり現PTA副会長も務める中釜章智様は枕崎市と稚内の利尻で協定を結んでいる昆鯉（こんかつ）出汁を取るなど本格派のそば提供となりました。そばを食された野沢会長と茶屋名誉顧問も「うまい！」と太鼓判でした。学校の活性化に地元枕崎支部も尽力しています。



そば打ち風景
枕崎副支部長 駒水秋則様
(S57水産製造科卒)



出汁作り風景
PTA副会長 中釜章智様
(H4情報通信科卒)



食事風景
右：会長 野沢好則様
(S42漁業科卒)
左：名誉顧問 茶屋征夫様
(S38水産製造科卒)

生徒の活躍（三級海技士筆記試験全員合格） 3年海洋科海洋技術コース

この度、後輩たちの努力・活躍を内航海運新聞（平成27年11月9日掲載）に取り上げていただきました。



同校には、◇海洋科 ち海洋技術コース3名、
◇航海科 25年度が9名（3名）、
◇情報通信科◇食品 26年度が10名（5名）と
工業科があり、全校生徒数は303名。そのうち2年生から選択する海洋技術コースには2年生11名、3年生12名の生徒が在籍している。
同校における過去3年間の内航海運業界への就職状況については、平成24年度卒業生が5名（うち

鹿児島県立鹿児島水産高校3年海洋科海洋技術コースに在籍する生徒12名全員がこのほど、三級海技士（航海）の筆記試験を受験し、すべての科目で完全合格した。昨年からは教員と生徒が一体となって試験に向けた取り組みを積み重ねてきたといい、「受験したクラス全員が完全合格するのは全国でも例をみないことではないか」（同校進路担当の八木泰浩教諭）。今回合格した12名のうち、内航海運に進路を希望する生徒が半数を占めていることから、若年船員不足が深刻化する内航海業界にとっても明るい話題といえそうだ。

このこととなる。
今回、海洋技術コースの3年生が受験した三級海技士（航海）の筆記試験は、合格率3割程度の狭き門。それに加えて、商船大学等卒業と同等のレベルが求められることから、高校3年生のクラス全員がすべての科目で完全合格したことは全国的にも稀にみる快挙であるといえよう。
進路担当の八木教諭によると、試験対策は昨年からの開始。登校後に約30分の朝自習、放課後はコース職員が各分野を分担して1時間程度の夕補習を行ってきた。「法規」は各法規を海洋技術コース所属の教員2名で、「運用」は計算問題と文章問題に分けて教員2名で、「航海」は天文・地文・海図・その他に分けて教員4名で分担し、それぞれ指導に当たった。さらに補習後は、合格基準を9割以上に設定して確認テスト（自己採点形式）を繰り返して実施。試験直前には、合格基準を7割以上に設定し、海洋技術コースの教員が作成した予想問題を用いた模擬試験を行うなど、教員と生徒が一体となり、時間をかけて徹底的に取り組んできた。

三級海技士（航海）の筆記試験に合格した12名のうち、半数となる6名が内航海運業界への就職（タンカー2名、ROR O船2名、フェリー2名）を希望。そのほかの生徒は、5名が進学（同校専攻科4名、海上技術短期大学校1名）、1名が航海訓練所への就職を希望している。



発行所 内航新聞社
東京都中央区日本橋室町
4-3-11 共同ビル
TEL (03) 3241-6911
FAX (03) 3270-3452
URL http://www.naikou.co.jp

